

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		すこやか育児相談					所管	健康部 保健サービス課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	2	計画事業名	親と子の相談事業の充実			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 1 妊娠期から子育て期の切れ目のない支援					[事業開始] 平成17年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	法令(義務)	〔法令等名〕			母子保健法第9条・第10条					
	事業対象	直接の対象 : 乳幼児とその保護者 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	保護者が相談できる機会や集う場所を提供することで、育児不安の軽減や保護者の孤立化を防止する。また支援が必要な家庭の早期発見・早期介入につなげ、乳幼児のすこやかな育成を図る。									
	事業内容 [H30年度]	1.育児相談:①1~3か月の育児相談 ②1歳半からの育児相談 ③出張育児相談 2.育児心の悩み相談:子育て心理相談 3.特別な支援を必要とする親子への支援:外国人親子への通訳派遣 4.多胎児の会 5.おやこる一む:親子の交流の場として会場開放									
	委託の有無	一部委託	委託内容			外国人親子への通訳派遣を委託					
	補助金の有無	都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	育児相談回数	回	119	119	118	119	119	100.0%		
		育児心の悩み相談	回	36	36	35	36	36	100.0%		
	成果指標	育児相談参加人数	人	3,000	3,157	3,308	3,394	3,000	113.1%		
		育児心の悩み相談参加人数	人	100	75	49	60	100	60.0%		
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			17,834		8,799		15,870		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,180		1,107		1,186		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0		
総経費			19,014		9,906		17,056				
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			564		551		593			
	一般財源(区負担額)			18,450		9,355		16,463			
課題及び今後の進め方	育児心の悩み相談については、近年、参加人数が減少傾向にあった。そのため、平成30年度からメルマガを活用して必要がある方に情報が届くように周知を行っている。引き続き、周知していくとともに、キャンセル等で相談につながらなかった方については地区担当保健師が継続して関わり、必要な時に当事業につながるよう支援していく。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	保護者が相談できる機会や集う場所を提供することで、育児不安の軽減や保護者の孤立化を防止するとともに、支援が必要な家庭を早期発見して虐待を防止する上でも本事業の必要性は高い。								
	効率性	3	本事業と発達相談を組み合わせると同日開催することで、児が遊んでいる様子も見ながら、専門職による発達相談を実施できる体制を整備している。								
	手段の適切性	3	様々な専門職による相談を実施することで児の発育・発達に応じた適切な支援を行うとともに、保護者の育児不安や負担の軽減に役立っている。								
目的達成度	2	育児心の悩み相談については、必要がある方に情報が届くようにメルマガも活用して周知を行い、参加人数は微増したが、目標値に対する達成率は60%となっている。引き続き、周知を徹底していく必要がある。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
専門職による相談や親子が集える場を提供することは、育児不安の軽減や孤立化を防ぎ、虐待を防止することにつながっていると思われる。今後も必要な方に情報が届くようにメルマガも活用して周知を徹底していくとともに、保護者のニーズや課題も把握しながら事業の実施方法等も検討していく必要がある。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			